



日々新聞
号二第

宋相庭師の多岐の
 愛を信ト占を頼み冥有
 と又を頼の頭を并に愛
 船場辺の入仕舎悪しく
 堂駕より帰る後より世
 七八の女声るを君の頼有
 我へ狸せぬが二足の子裡
 を取は溝の側の医師で
 生膳を採水せんとな表
 命を助給らへ君の望み法より
 越えあへとの事東此事情ひ立別と日函者を訪ひ價を十限
 買取り東馬場と聞い心持行を親と之と叫ぶも来らぬ又
 子裡を放し一掃路小函師の門を見れば閉て誰を居ぬ取々初て心
 當り茶餅味を様子を見ぬれを急お轉居るをいとのあふカノ狸より
 罫丸の釣よりと大損へ大故却て無怒とい是等の説を
 成べ

大永堂狸昇記

信成

信成
 形二九一